

# バイオスタウン構想分析DB

[【リンク】黒石市バイオスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km <sup>2</sup> )
44	2010.11.30			青森県	黒石市	37,156	216.96
構想の要約		黒石市は、稲作及びりんご生産を中心とした農業が基幹産業であり、それに由来する稲わら、もみ殻、りんご剪定枝、また山間部で発生する森林間伐材や林地残材、さらに市内りんごジュース工場で発生するりんご搾り粕などの有機質資源、いわゆる「バイオマス」が豊富に存在している。このバイオマスの活用を図ることで、有機質たい肥の生産やバイオコークスの製造等を確立し、新たな産業の育成、雇用創出、農家所得の向上を目指す。					
構想に盛り込まれた事業		1. りんご搾り粕の乾燥飼料化、固形燃料化 2. 家庭用生ごみたい肥化と農地還元 3. 家畜排せつ物のたい肥化 4. 集排水汚泥のたい肥化 5. りんご剪定枝のたい肥化 6. 稲わらのたい肥化と固形燃料化 7. もみ殻の固形燃料化 8. 間伐材・林地残材の燃料化 9. 野菜残さのたい肥化 10. 稲わら、もみ殻を保管するためのストックヤードの建設 11. バイオコークス実証試験及び製造					
バイオマス利活用目標		添付別紙参照					
バイオスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス					
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物	
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物	
農業系廃棄物(腐菌床など)		野菜等非食部	○		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○		
廃食用油		果樹剪定枝	○		
水産加工残さ		竹材			
製材工場等残材		その他( 水草 )			
建設発生木材					
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草					
古紙・廃業紙					
下水汚泥など	○				
その他( )					

利用するバイオマス変換技術					
マテリアル利用のための変換技術			エネルギー利用のための変換技術		
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○		バイオガス化(メタン発酵)		
飼料化	○		直接燃焼		
バイオマスプラスチック製造			ガス化		
その他( )			炭化		
			固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)		
			バイオディーゼル燃料化		
			バイオエタノール化		
			その他(バイオコークス)		○

バイオスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

**バイオマス利活用目標**  
(バイオマスタウン構想書からコピー)

**7 バイオマスタウン構想の利活用目標及び実施により期待される効果**

(1) 利活用目標

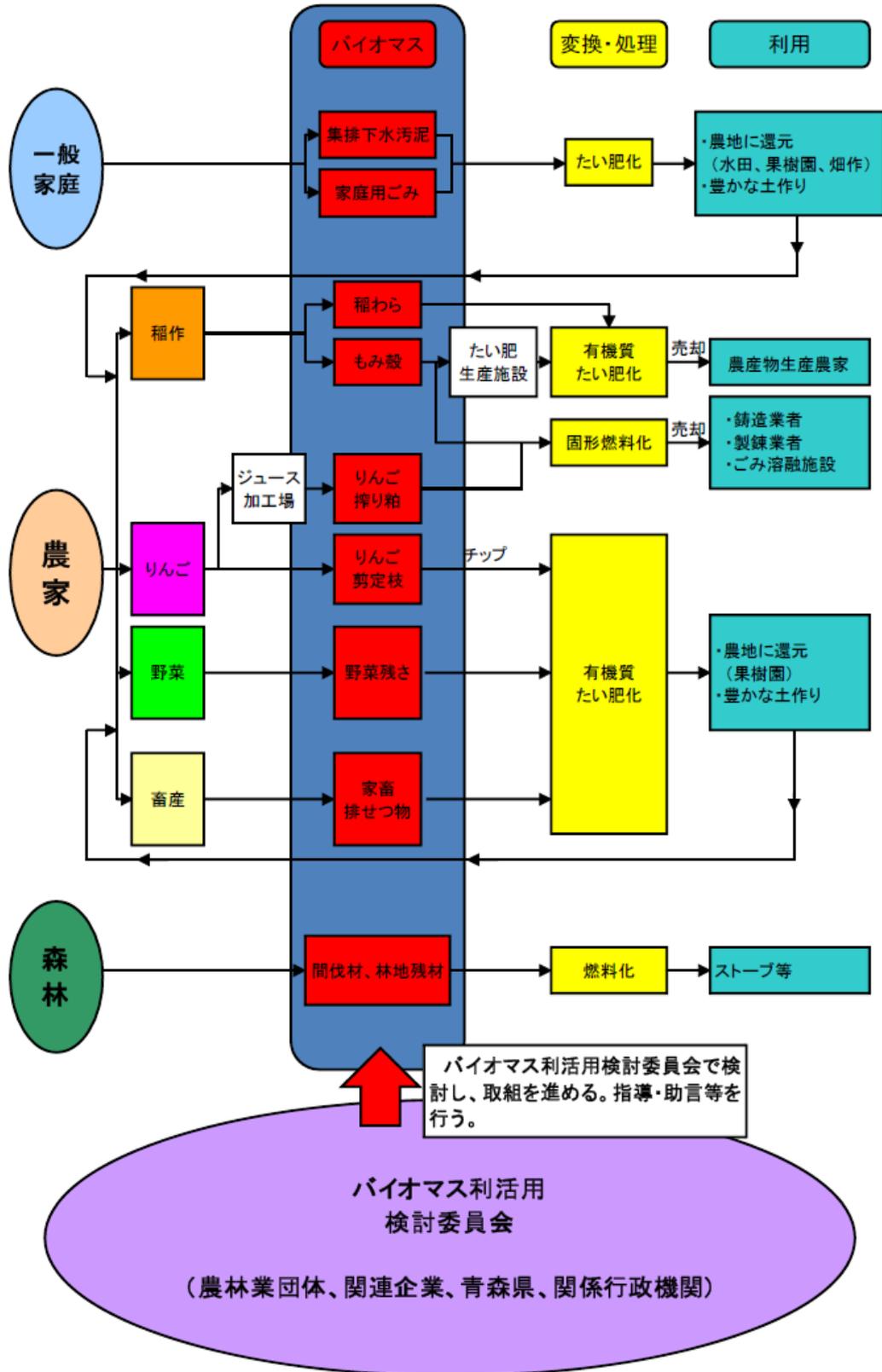
- ① 廃棄物系バイオマスの利用率      現状 47%から目標 93%
- ② 未利用バイオマスの利用率      現状 20%から目標 44%

表7 地域のバイオマス賦存量及び利活用目標 (単位: t)

バイオマス	賦存量	賦存量 (炭素換算)	変換 処理方法	計画 仕向量	仕向量 (炭素換算)	利 用 販 売	目標値 (%)
廃棄物系バイオマス	7,065	552		6,634	515		93
りんご搾り粕	3,468	307	飼料化、燃料化	3,295	291	販売	95
家庭系生ごみ	1,967	174	たい肥化	1,770	156	農地還元	90
家畜排せつ物	1,128	67	たい肥化	1,067	64	農地還元、販売	96
集排水汚泥	502	4	たい肥化	502	4	農地還元	100
未利用バイオマス	16,987	4,622		7,499	2,051		44
りんご剪定枝	7,061	1,829	たい肥化	2,824	731	農地還元	40
稲わら	8,078	2,313	たい肥化、燃料化	4,039	1,156	農地還元、販売	50
もみ殻	1,287	368	たい肥化、燃料化	514	147	農地還元、販売	40
間伐材、林地残材	371	96	燃料化	37	10	販売	10
野菜残さ	190	16	たい肥化	85	7	農地還元	44

バイオスタウン構想概要図  
 (バイオスタウン構想書からコピー)

黒石市バイオスタウン構想全体フロー図



### 実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)